

5. 災害調査 (10)新潟県長岡市山古志、越路地区雪崩現地調査 (2013. 1. 23)

研究代表者	雪氷防災：上石 勲	実施期間	平成 24 年度
研究参加者	雪氷防災：安達 聖 北海道大学：小西和弘		

[目 的]

2013年1月23日、新潟県長岡市岩山古志地区、越路地区で雪崩が発生し県道を埋設した。積雪や雪崩発生状況を現地調査によって把握し、今後の雪崩対策などに資することとした。

[実施内容]

調査実施日：2013年1月23日

調査箇所：新潟県長岡市山古志地区(図1上)

新潟県長岡市越路地区(図1下)

[成果と効果]

調査により雪崩発生状況や積雪状況などについて把握した。

(1) 山古志地区雪崩

- ・雪崩発生日時：2013年1月23日
- ・雪崩種類：面発生湿雪全層雪崩
- ・雪崩規模：長さ約50m、幅約10m
- ・発生面での傾斜：約45度
- ・雪崩発生状況
県道脇の斜面から湿雪全層雪崩が発生し道路を幅10mにわたって埋めた(図2)。

(2) 越路地区

- ・雪崩発生日時：2013年1月23日
- ・雪崩種類：面発生湿雪全層雪崩
- ・雪崩規模：長さ約30m、幅約5m
- ・発生面での傾斜：約45度
- ・雪崩発生状況
県道脇の斜面から湿雪全層雪崩が発生し道路を幅5mにわたって埋めた。その後、除雪により路面が確保された。
- ・積雪状況
近隣斜面での観測を実施した。積雪深は130cmで全層ぬれざらめ雪、積雪密度は350-400kg/m³で積雪底面部は450kg/m³と大きな値となっており、融雪水が積雪底面から流出し、地面との摩擦が小さくなって全層雪崩が発生したものと推定された。



図1 雪崩発生箇所



図2 雪崩発生状況 (左：長岡市山古志地区 右：越路地区)



図3 積雪状況(長岡市岩田地区
2013年1月23日)

[行政機関等への貢献]

雪崩発生状況については新潟県長岡地域整備部から情報を頂いた。今後の対策についてのアドバイスを行った。